

(様式3参考)

平成 年 月 日

【四半期交流状況報告書(兼 年度交流状況報告書)の提出方法について】

- ・当該四半期終了の翌月15日までに電子データにて提出して下さい。(ただし第4四半期のみ翌月24日提出期限)
- ・第3四半期提出時(1月15日提出期限)には、第3及び第4四半期(見込み)の2枚提出して下さい。第4四半期報告書(確定版)(4月24日提出期限)がそのまま年度交流状況報告書となります。
- ・第4四半期(見込み)を作成する際には、報告書名に「(見込み)」を忘れずに付けて下さい。
- ・各四半期の間に参加者の追加・削除があった場合には、更新した参加者リストもあわせて提出して下さい。

実施組織代表者

機関名:

所属・職・氏名:

研究拠点事業

交流状況報告書

「機関名」には、実施計画書内「4. 実施体制」の拠点機関欄に記載の内容を、「所属・職・氏名」には、日本側実施組織代表者記載の内容を記載。

を実施しましたので報告します。

記

採用番号:

拠点機関名(コーディネーター 職・氏名):

研究交流課題名:

交流相手国名: 米国・英国

「交流相手国名」には、実施計画書内「相手国側実施組織」の国名を掲載順に記入。

交流相手国以外の国への派遣は、理由書提出による事前の承認が必要です。また、表中国名の下に(第三国)と記入して下さい。

国(地域)別交流人数・人日数総表

※ 日本及び交流相手国より経費を負担して

人数・人日数

派遣先 派遣元	四半期	日本	米国	英国	フランス (第三国)			合計 <人/人日>
日本	第1	/	13/ 46					13/ 46
	第2						0/ 0	
	第3						0/ 0	
	第4			1/ 5	1/ 3		2/ 8	
	計		13/ 46	1/ 5	1/ 3	0/ 0	15/ 54	
米国	第1	2/ 8	/					0/ 0
	第2						2/ 8	
	第3						0/ 0	
	第4			3/ 15			3/ 15	
	計			5/ 23	0/ 0	0/ 0	0/ 0	5/ 23
英国	第1	5/ 30	4/ 10	/				0/ 0
	第2							0/ 0
	第3							9/ 40
	第4							0/ 0
	計				5/ 30	4/ 10	0/ 0	0/ 0
	第1						0/ 0	

交流相手国以外の国を追加した後も、本表が1ページに収まるように表の大きさを調整ください

【記入上の注意】

- ・派遣先の左端、及び派遣元の最上段は必ず日本を記入して下さい。
- ・人/人日数は、「1/10」(=1人を10日間派遣)と記入して下さい。
- ・一度の派遣で複数国へ行った場合は、該当国の人数/人日数にそれぞれ計上して下さい。(例:第4四半期に1人が英国(5日間)とフランス(3日間)に派遣される場合→第4四半期に英国1/5及びフランス1/3と計上)
- ・各四半期をまたぐ交流については、開始日の属する四半期に全交流日数を計上して下さい。(例:1人の研究者が6月29日~7月3日派遣される場合→第1四半期に1/5と計上)
- ・実績数が実施計画書で承認された計画数と大きく異なる場合は、派遣数の増減理由をお知らせください。

合計 <人/人日>	第1	0/ 0	13/ 46	0/ 0	0/ 0	0/ 0	0/ 0	13/ 46
	第2	2/ 8	0/ 0	0/ 0	0/ 0	0/ 0	0/ 0	2/ 8
	第3	5/ 30	4/ 10	0/ 0	0/ 0	0/ 0	0/ 0	9/ 40
	第4	3/ 15	0/ 0	1/ 5	1/ 3	0/ 0	0/ 0	5/ 23
	計	10/ 53	17/ 56	1/ 5	1/ 3	0/ 0	0/ 0	29/ 117

